

# HBsAg サブタイプ EIA 仕様及び使用方法について

ad/ ay 48 テスト、ad 96 テスト、ay 96 テストの各仕様においては、添付文書から以下の内容を読み替えて使用してください。

## HBsAg サブタイプ EIA ad/ ay 48 テスト

### 【キットの構成】

- |     |   |             |
|-----|---|-------------|
| 1.  | HBs 抗体固相プレート (8 ウェル×12)<br>(HBs マウスモノクローナル抗体) | 1 枚         |
| 2.  | 陰性コントロール (青)                                  | 1 mL ×1 本   |
| 3.  | 陽性コントロール d (緑)                                | 0.5 mL ×2 本 |
| 4.  | 陽性コントロール y (黄)                                | 0.5 mL ×2 本 |
| 5.  | 酵素標識抗体 d (緑)<br>(ペルオキシダーゼ標識抗 d マウスモノクローナル抗体)  | 1.5 mL ×2 本 |
| 6.  | 酵素標識抗体 y (黄)<br>(ペルオキシダーゼ標識抗 y マウスモノクローナル抗体)  | 1.5 mL ×2 本 |
| 7.  | 酵素基質<br>(TMB)                                 | 10 mL ×1 本  |
| 8.  | 反応停止液   | 10 mL ×1 本  |
| 9.  | 洗浄原液 (20 倍濃縮液)<br>(界面活性剤含有)                   | 25 mL ×2 本  |
| 10. | プレートシール                                       | 5 枚         |

### 【操作方法】

#### 3. 測定操作法

##### (1) 検体割付例

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	B	B	6	6	14	14	22	22	30	30	38	38
B	N	N	7	7	15	15	23	23	31	31	39	39
C	P-d	P-y	8	8	16	16	24	24	32	32	40	40
D	1	1	9	9	17	17	25	25	33	33	41	41
E	2	2	10	10	18	18	26	26	34	34	42	42
F	3	3	11	11	19	19	27	27	35	35	43	43
G	4	4	12	12	20	20	28	28	36	36	44	44
H	5	5	13	13	21	21	29	29	37	37	45	45
	抗原決定基 d の検出	抗原決定基 y の検出	抗原決定基 d	抗原決定基 y	抗原決定基 d	抗原決定基 y	抗原決定基 d	抗原決定基 y	抗原決定基 d	抗原決定基 y	抗原決定基 d	抗原決定基 y

- B:        ブランク  
 N:        陰性コントロール  
 P-d:     陽性コントロール d  
 P-y:     陽性コントロール y  
 1…45:   検体

##### (4) 酵素標識抗体の添加

抗原決定基 d、y をそれぞれ検出するためのウェルに対応させて、酵素標識抗体 d を 50 μL、酵素標識抗体 y を 50 μL 添加してください。

但し、ブランク用ウェルには添加しないでください。

### 【測定結果の判定法】

#### 2. (2) サブタイプの判定

抗原決定基 d と y の一方が陽性の場合、その抗原決定基に対応するサブタイプとして判定してください。

(例 ; 「d: +」、 「y: -」 → サブタイプ ad)

## 〈測定手順〉

測定項目 測定手順	ブランク	抗原決定基 d			抗原決定基 y		
		NC	PC	検体	NC	PC	検体
〈コントロール及び検体の添加〉 陰性コントロール 陽性コントロール d 陽性コントロール y 検体	—	50 $\mu$ L	—	—	50 $\mu$ L	—	—
	—	—	50 $\mu$ L	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	50 $\mu$ L	—
	—	—	—	50 $\mu$ L	—	—	50 $\mu$ L
《 1 次 反 応 》	37℃、3時間、又は 15℃～30℃ 16～24時間						
< 洗 浄 >	5回繰り返し						
〈酵素標識抗体の添加〉 酵素標識抗体 d 酵素標識抗体 y	—	50 $\mu$ L	50 $\mu$ L	50 $\mu$ L	—	—	—
	—	—	—	—	50 $\mu$ L	50 $\mu$ L	50 $\mu$ L
《 2 次 反 応 》	37℃、2時間						
< 洗 浄 >	5回繰り返し						
< 酵 素 基 質 の 添 加 >	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L
《 酵 素 反 応 》	15℃～30℃、暗所、30分						
< 反 応 停 止 液 の 添 加 >	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L
< 吸 光 度 の 測 定 >	吸光度測定（主波長 450 nm、副波長 620 nm）						

NC:陰性コントロール

PC:陽性コントロール

# HBsAg サブタイプ EIA ad 96 テスト

## 【キットの構成】

1. HBs 抗体固相プレート (8 ウェル×12) 1 枚  
(HBs マウスモノクローナル抗体)
2. 陰性コントロール (青) 1 mL ×1 本
3. 陽性コントロール d (緑) 0.5 mL ×4 本
4. 酵素標識抗体 d (緑) 1.5 mL ×4 本  
(ペルオキシダーゼ標識抗 d マウスモノクローナル抗体)
5. 酵素基質 (TMB) 10 mL ×1 本
6. 反応停止液 10 mL ×1 本
7. 洗浄原液 (20 倍濃縮液) 25 mL ×2 本  
(界面活性剤含有)
8. プレートシール 5 枚

## 【操作方法】

### 3. 測定操作法

#### (1) 検体割付例

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	B	6	14	22	30	38	46	54	62	70	78	86
B	N	7	15	23	31	39	47	55	63	71	79	87
C	P-d	8	16	24	32	40	48	56	64	72	80	88
D	1	9	17	25	33	41	49	57	65	73	81	89
E	2	10	18	26	34	42	50	58	66	74	82	90
F	3	11	19	27	35	43	51	59	67	75	83	91
G	4	12	20	28	36	44	52	60	68	76	84	92
H	5	13	21	29	37	45	53	61	69	77	85	93
	抗原決定基 d の検出	抗原決定基 d	抗原決定基 d	抗原決定基 d	抗原決定基 d	抗原決定基 d	抗原決定基 d	抗原決定基 d	抗原決定基 d	抗原決定基 d	抗原決定基 d	抗原決定基 d

- B: ブランク  
 N: 陰性コントロール  
 P-d: 陽性コントロール d  
 1…93: 検体

#### (4) 酵素標識抗体の添加

抗原決定基 d を検出するためのウェルに対応させて、酵素標識抗体 d を 50  $\mu$ L 添加してください。但し、ブランク用ウェルには添加しないでください。

## 【測定結果の判定法】

### 2. (2) サブタイプの判定

抗原決定基に対応するサブタイプとして判定してください。

## 〈測定手順〉

測定項目 測定手順	ブランク	抗原決定基 d		
		NC	PC	検体
〈コントロール及び検体の添加〉 陰性コントロール 陽性コントロール d 検体	—	50 $\mu$ L	—	—
	—	—	50 $\mu$ L	—
	—	—	—	50 $\mu$ L
《 1 次 反 応 》	37°C、3時間、又は 15°C~30°C 16~24時間			
< 洗 浄 >	5回繰り返す			
〈酵素標識抗体の添加〉 酵素標識抗体 d	—	50 $\mu$ L	50 $\mu$ L	50 $\mu$ L
	37°C、2時間			
< 洗 浄 >	5回繰り返す			
< 酵 素 基 質 の 添 加 >	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L
《 酵 素 反 応 》	15°C~30°C、暗所、30分			
< 反 応 停 止 液 の 添 加 >	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L	100 $\mu$ L
< 吸 光 度 の 測 定 >	吸光度測定（主波長 450 nm、副波長 620 nm）			

NC:陰性コントロール    PC:陽性コントロール

# HBsAg サブタイプ EIA ay 96 テスト

## 【キットの構成】

1. HBs 抗体固相プレート (8 ウェル×12) 1 枚  
(HBs マウスモノクローナル抗体)
2. 陰性コントロール (青) 1 mL ×1 本
3. 陽性コントロール y (黄) 0.5 mL ×4 本
4. 酵素標識抗体 y (黄) 1.5 mL ×4 本  
(ペルオキシダーゼ標識抗 y マウスモノクローナル抗体)
5. 酵素基質 (TMB) 10 mL ×1 本
6. 反応停止液 10 mL ×1 本
7. 洗浄原液 (20 倍濃縮液) 25 mL ×2 本  
(界面活性剤含有)
8. プレートシール 5 枚

## 【操作方法】

### 3. 測定操作法

#### (1) 検体割付例

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	B	6	14	22	30	38	46	54	62	70	78	86
B	N	7	15	23	31	39	47	55	63	71	79	87
C	P-y	8	16	24	32	40	48	56	64	72	80	88
D	1	9	17	25	33	41	49	57	65	73	81	89
E	2	10	18	26	34	42	50	58	66	74	82	90
F	3	11	19	27	35	43	51	59	67	75	83	91
G	4	12	20	28	36	44	52	60	68	76	84	92
H	5	13	21	29	37	45	53	61	69	77	85	93
	抗原決定基 y の検出	抗原決定基 y	抗原決定基 y	抗原決定基 y	抗原決定基 y	抗原決定基 y	抗原決定基 y	抗原決定基 y	抗原決定基 y	抗原決定基 y	抗原決定基 y	抗原決定基 y

- B: ブランク  
 N: 陰性コントロール  
 P-y: 陽性コントロール y  
 1…93: 検体

#### (4) 酵素標識抗体の添加

抗原決定基 y を検出するためのウェルに対応させて、酵素標識抗体 y を 50  $\mu$ L 添加してください。但し、ブランク用ウェルには添加しないでください。

## 【測定結果の判定法】

### 2. (2) サブタイプの判定

抗原決定基に対応するサブタイプとして判定してください。

## 〈測定手順〉

測定項目 測定手順	ブランク	抗原決定基 y		
		NC	PC	検体
〈コントロール及び検体の添加〉 陰性コントロール 陽性コントロール y 検体	—	50 μL	—	—
	—	—	50 μL	—
	—	—	—	50 μL
《 1 次 反 応 》	37℃、3時間、又は 15℃～30℃ 16～24時間			
< 洗 浄 >	5回繰り返す			
〈酵素標識抗体の添加〉 酵素標識抗体 y	—			
		50 μL	50 μL	50 μL
《 2 次 反 応 》	37℃、2時間			
< 洗 浄 >	5回繰り返す			
< 酵 素 基 質 の 添 加 >	100 μL	100 μL	100 μL	100 μL
《 酵 素 反 応 》	15℃～30℃、暗所、30分			
< 反 応 停 止 液 の 添 加 >	100 μL	100 μL	100 μL	100 μL
< 吸 光 度 の 測 定 >	吸光度測定（主波長 450 nm、副波長 620 nm）			

NC:陰性コントロール      PC:陽性コントロール